

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ふくろうっこ		公表日		2026年3月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・部屋が狭く、学習スペースと遊びのスペースが明確に分けられない。学習が終わり、元気に遊びたい子どもを先に公園に連れて行くなどして、分けるようにしている。 ・部屋の広さには限りがあるので、机の配置を変えて遊ぶスペースを確保している。	・勉強と活動のスペースを分ける。活動スペースとしては狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・利用児に対して、職員の多い少ない日がある。できるだけ必要な職員を配置できるというが、職員の数が少ない時は1対1対応に必要な子ども以外は、少ない大人でも支援ができるよう遊びを工夫している。 ・子どもが安全に安心して過ごせるよう十分な数の職員が配置されている。 日によって支援員の配置が十分でない場合、公園に行きたくても別行動が取れない時がある。	・職員が急に欠勤した場合の人数確保が課題。普段から欠勤しても人員配置がクリアできるようシフトを組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・なるべく遊びと学習のスペースが分かりやすいよう机やおもちゃの配置などで工夫している。また、必要に応じて、視覚支援を取り入れることでわかりやすい環境を提供している。 ・勉強する場所と遊びの場所を柵やホワイトボード等を使って分けており、子どもにとって分かりやすい。 ・主にきこえにくい子どもたちが対象なので、写真や絵カード、文字などの視覚情報を掲示している。また、手話を使うことでコミュニケーションをスムーズにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・職員が毎朝、机やトイレなど丁寧に清掃して、清潔に心地よく過ごせる環境を提供している。また、ソファやフロアマットなど、ゆったり過ごせる場所と狭いが活動的に過ごせる場所も作っている。 ・消毒や清掃等が丁寧に行われている。また、子どもたちの活動に合わせて環境を整えている。 ・入室時には上靴に履き替えるので清潔は保たれている。勉強と遊びの空間を分けてはいるが、同室のため勉強に集中しにくい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個別の部屋はない。仕切りを利用する、靴箱スペースを利用するなど、全体と離れて過ごせるよう工夫している。 ・実際にはあまり見たことはないが、必要に応じて個別の場所を使用することは認められると思う。 ・手製の間仕切りを作って視界を遮る工夫はしているが、声は遮断できない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・チームミーティングは行っているが、子どもいない時間に支援員全員が集まることができず、記録を読んだり書き加えたりすることで補充している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・あまり詳しくは知らないが、保護者との面談等を通して保護者の意見を取り入れている。 ・懇談と日頃の連絡にプラスして周知するようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・チームミーティングのときに意見として出しことができるほか、その時々で必要なことは意見として話すことができる。 ・ミーティングや職員への個別面談等を通して、職員の意見を把握し取り入れている。 ・必要に応じて気づいたことを気楽に管理者に伝える雰囲気はできている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・虐待研修、汚物処理の研修などが保証されているほか、事務所内に研修の案内など掲示しており、興味のある研修には参加できるようになっている。 ・様々な研修が法人内でも行われており、不参加者にも資料が配布されるのが良い。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・職員が自由に閲覧できるようになっている。 ・支援プログラムがすぐに確認できる場所に置かれており、非常勤職員にも周知されているのが良い。 ・いつでも支援計画を見ることができるようになっている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・子どもの観察や保護者への聞き取り等を通してニーズや課題を適切に把握していると思う。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・その時々で意見が言えるほか、チームミーティングの中で全員の子どものついて意見を出し合い、話し合いがなされている。 ・チームミーティングを行い協議しているが、時間が足りず早で進めることがある。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画等がすぐに確認できる場所に置かれており、情報が共有されている。 ・必要に応じて支援計画を見たり、現場で確認しあっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・フォーマルなアセスメントは詳しく知らないが、日々の行動観察等による状況把握が行われている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・個々の子どもに対して適切に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・職員が意見を出し合って、その中から子供の活動としてふさわしいものを考えて立案されている。 ・立案前に情報収集して持ち寄っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・何度か経験することで、今までは参加できなかった活動に参加できる場合もあるので、繰り返し同じプログラムをすることの必要性はある。同じプログラム、安心できる内容の遊びのある中に新しいプログラムがあり、苦手だったこともできるようになった自信から新しいことに取り組むことができると思うので、今のままでよい。 ・日頃からアンテナを張り興味深いイベントなどを収集している。	・子どもの好みや性格によっては活動プログラムが異なる場合がある。できるだけ、それぞれの学齢期に合わせた活動ができるよう企画する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・学校の宿題は個別対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・簡単ではあるが、口頭で子どもの人数、特性、大人の人数などを見た上でその日の支援が考えられている。	
	21	支援に開始前には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・子どもができるだけ自己選択できるような声かけや見守りを行うことができていると思う。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校との面談や話し合い等を行い、変更事項や連絡事項がある場合は電話等で連絡を適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・保護者を通じて情報を得ている程度である。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		・他の放デイ事業所との交流がある。 ・月1回の新長田子ども食堂に参加し、地域の子もたちとの交流を図っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		・2024年まで毎年開催していたが、コロナ感染拡大をきっかけに休止。再開できるよう努めたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・法人の通信が発行されている。 ・フェイスブックのページで広報がなされている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		・SNS等、写真掲載に十分留意し、個人情報は守られているようになっている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		・公式ラインアカウント経由で利用後の「連絡ノート」で様子や連絡などを伝えている。よりリアルに伝わるよう活動様子の写真も添えて送っている。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・新規場面が苦手な子もいるので、子ども達と実施する防犯訓練、避難訓練の機会を増やしてほしい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・秘密資料として保管されていれば新しい職員にもすぐに周知でき、前からいる職員にも漏れない。 ・送迎運転手とも情報共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・対象児童がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・チームミーティングで共有を図っている。	・共有できているが、ヒヤリハット文書として記録を残し、検討しやすいようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止の研修が法人内で行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			